

2023年度 子どもセンターただON 事業実績

<1>子育て支援事業

【定期事業】

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
0歳あつまれ！	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子育てスタート期を過ごすことができる ・親子のコミュニケーションが豊かになる ・地域の子育て力が向上する 	ふれあい遊び、体操、交流、手形足形スタンプ、おはなしなど	0歳～1歳3ヶ月ぐらゐの乳幼児と保護者	毎週金曜日 午前10時30分～11時30分	36回	540名	<p>毎週実施しており、保護者とスタッフ・保護者同士も関係を深めやすい様子。参加人数が少ない日もあったが、その分密な交流ができていた。</p> <p>ボランティアの民生委員さんも、手形足形の時以外も積極的に交流してくれて、アドバイスをする姿も見られた。</p> <p>ベビヨガ講師は、利用者のお母さんが務める。ベビヨガ以外にも、ハロウィンやクリスマスのフォトスポットの設置や、保護者から提案があった「0歳あつまれ！ベビヨガおにぎり会」の実施にも協力してくれた。</p> <p>子育ての悩みの共感、情報交換を通じて、子育てに対する不安の軽減につながっている。本事業をきっかけに、子どもセンターに来館する利用者も多い。</p>
【ボランティア】 0歳あつまれ！ ベビヨガおにぎり会 協力《石岡絵里奈氏》	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの提案を実現させ、利用者（保護者）が子どもセンターにより深く関わることで、家庭と子どもセンターのつながりを強める ・現在の0歳児が成長し、1人で子どもセンターを利用するようになり何か起きた時に、家庭とのスムーズな連携ができる 	「0歳あつまれ！」終了後、調理室「ことこと」でおにぎりを作り、会食する	0歳～1歳3ヶ月ぐらゐの乳幼児と保護者	第2金曜日 午前11時30分～正午	6回	61名	<p>「0歳あつまれ！」ベビヨガの参加者と講師から出た要望により実施。参加者の口コミでも広まり、利用者の関心を集めていた。</p> <p>保護者の分のおにぎりのみの用意になるので、2回目以降はお子さんの分の食べるものは必要に応じて持参してもらった。実施が決まった時には、発案者たちは「本当に実現するなんて」と驚いていた。</p> <p>参加者・講師・スタッフとの交流・情報交換の場にもなり、毎回明るく和やかな良い雰囲気で開催した。事業以外の時間に会った時の親しみも増して、つながりが強まっている。</p>
親子であそぼON	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て期を楽しく過ごすことができる ・親子のコミュニケーションが豊かになる ・地域の子育て力が向上する 	スキンシップを中心とした親子遊び、手遊び、親子体操、運動遊び、おはなし、工作 など	幼児と保護者	木曜日（第3を除く） 午前11時～11時30分	22回	449名	<p>月に2回、1歳以上の幼児を対象に実施。1～2歳の参加が多い。「0歳あつまれ！」を卒業してから参加してくれる子の顔も見える。</p> <p>子ども本人が動く手遊び・体遊びを中心にしている。</p> <p>初めて参加する親子には親子体操が難しい様子があり、体操が始まる前に難しい動きを練習してから実施した。音が響きすぎてしまい、声が届きづらい点は、機材を変えることで少し改善された。</p> <p>途中の出入りは自由なので、気軽に参加をと呼び掛けている。</p> <p>月に1回、青少年委員の協力により、終了後に手形足形を実施。こちらも好評である。</p> <p>親子体操や手遊びでふれあい、体遊びでは活発に、コミュニケーションを取りながら親子ともに楽しく参加している。</p>

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
親子であそぼON Sunday (ボランティアあり)	<ul style="list-style-type: none"> ・(平日就労している保護者も)子育て期を楽しく過ごすことができる ・夫婦・親子・家族間のコミュニケーションが豊かになる ・地域の子育て力が向上する 	10時30分～大型遊具での自由遊び 11時～スキンシップを中心とした親子遊び、手遊び、運動遊び、おはなし、工作など	乳幼児と保護者	第2日曜日 午前10時30分～11時30分	9回	431名	月に1回、日曜日に実施。平日の「親子であそぼON」とは参加者の顔ぶれが変わり、親子3人での参加も見られる。普段は幼稚園に通っている子の参加もあり、きょうだいで参加する組もある。初来館・初参加の親子も目立つので、特に、動きがあつて盛り上がるからだ遊びを取り入れて楽しめるようにしている。大学生が毎回ボランティアで来てくれ、進行補助や手遊びをしている。家族同士のコミュニケーションが豊かになり、他の親子ともかわるきっかけとなり、楽しんで参加している。
親子であそぼON Sunday♪ 講師《後藤紀子氏》	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児向けの事業が少なくなる3月に、普段とは違う大きなイベントを楽しむ。 ・地域の子育て力が向上する。 	和光大学・後藤紀子准教授による歌あそび	乳幼児と保護者	3/10(日) ①午前10時30分～11時50分 ②午前11時10分～11時50分	1回	①8名 ②8名	普段の「親子であそぼON Sunday」ではなく、保護者からの声で音楽とお話を楽しめるイベントを実施した。申込制にしたが、申込はとてまもなく、当日も来館者自体が少なかった。少人数での実施になったが、先生は気にせず楽しそうにパネルシアターやのぞき穴のあるおはなしで参加者を楽しませてくれた。布遊びも盛り上がった。普段とは違う大がかりな歌あそびに、2回連続で参加する子もいるほどで、参加者はイベントを楽しんだ様子。
【ボランティア】 わくわくおはなし会 協力《ひろば文庫》	<ul style="list-style-type: none"> ・親子のコミュニケーションが豊かになる ・多様な児童文化に触れ豊かな情緒が育まれる ・地域の人材を活用することで安心して地域の中で子育てができる 	絵本・紙芝居・ペープサート・パネルシアター・人形劇など	乳幼児と保護者	原則第3木曜日 午前11時～11時30分	11回	226名	季節にちなんだおはなしや音楽なども取り入れ、親子でじっくり絵本やおはなしの世界に浸れる時間の提供となっている。おはなしに合いの手をいれたり、一緒に人形劇に参加したり、毎回飽きないような工夫がなされている。また、10月は、バリトンとソプラノの歌とピアノとのコラボ、12月はバイオリン演奏ありのクリスマスバージョン、1月には和太鼓とのコラボなどスペシャルな回を開催している。スペシャルの回は、リピーターや参加者も多く、乳幼児親子に支持されている。

【不定期事業】

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
ちっちゃな水遊び	乳幼児向け事業が少なくなる夏休み期間中に、乳幼児親子が楽しめる場をつくる。	乳幼児室のテラスに、小さなビニールプールを設置する。	乳幼児と保護者	①7/27(木) ②8/3(木) ③8/10(木) ④8/17(木) ⑤8/24(木) 午前10時30分～正午	なし	①乳2名 幼12名 大13名 ②乳2名 幼4名 大6名 ③幼4名 大4名 ④乳2名 大2名 ⑤乳1名 幼2名 大3名 総数57名	乳幼児室のテラスに、小さなビニールプールを出した。事業での告知に加え、館内にポスターを貼っていたので、事前の問い合わせが数件あった。初日は気合を入れて水着と水中眼鏡を着けた幼児も来た。予定していた日程は全日実施することができ、初来館の子も常連の子も楽しんでいた。最初は水を怖がっていた子も、だんだんプールに入れるようになった。普段から来ている場所なので、気軽に水遊び・水遊びデビューができた様子。暑い日が続く夏の気分転換にもなっていた。
<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
<p>パパと遊ぼう！</p> <p>【共催】 忠生地域子育て相談センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ただONと忠生地域子育て相談センターが連携し地域の子育て家庭の支援を行なっていく一環とする ・父と子の関わりのレパトリーを増やし、父親の育児参加を促す ・地域の父親同士の交流の場を提供する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい遊び ・体遊び ・パパの交流タイム ・おはなし 	乳幼児とその父親	11/12(日) 午前10時30分～11時30分	なし	乳2名 幼5名 大7名 総数14名	母親は室外で待機していた。母親の姿が見えると泣いてしまう子もいた。父親がいないけれど参加したいという利用者もいたが、事業の目的を説明し、納得していただいた。普段はただONに来ない保護者も、常連の保護者も参加した。父と子のふれあい遊びが、力強くダイナミックで盛り上がった。関わりのレパトリーが増えた様子。多くはない参加人数だったが、父親同士の交流はとても活発で、良い時間を提供できた。
<p>町田ファミリー・サポート・センター相談会</p> <p>【共催】 町田市社会福祉協議会 町田ファミリー・サポート・センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ただONと町田ファミリー・サポート・センターが連携し地域の子育て家庭の支援を行なっていく一環とする ・地域の子育て力が向上する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センターの内容説明 ・子育てのお手伝いをご希望の方の会員登録 	どなたでも	9/22(金)、3/15(金) 午前10時30分～12時30分	なし	9件	ファミリー・サポート・センターのチラシを常設していることもあり、興味のある利用者から事前に問い合わせが数件あった。当日はファミリー・サポート・センターのスタッフが2名来館し、ひとりひとりに丁寧に説明をしていた。その場で登録していく利用者もいた。

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
ベビー用品回収会 【共催】 3R推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの出ないライフスタイルを提案する機会となり、ごみ減量の促進と意識向上を目指す ・エコな子育てを楽しむ ・安心して子育てが出来る地域だと感じてもらう ・ただONを、子育て支援拠点の一つと認識し、足を運んでもらう 	市民から市民へ、修理などを必要としない再利用可能なベビー用品を無料で回収し、必要とする方へ提供する	ベビー用品を提供したい、又は手に入れたい市民の方	10/29(日)回収会 午前11時～午後2時	なし	27件	朝に雨が降っていたが始まる時には晴れた。開始よりかなり早く来てしまう人もいた。近隣で催し物があったり文化祭があったりして、こちらの会は例年より少ない件数だったが、事前の問い合わせもあり、この機会を待っている人もいた。回収会のために、初めてただONに来館した人がいた。近隣の方々、特に乳児の保護者のリユースへの興味・関心が高いことがわかった。
つながる町だふあみりー ×ただON ベビー&キッズ用品く るくるリユースタイム 【共催】 つながる町だふあみりー	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の活動を支援し活躍を促し、地域力の向上を目指す。 ・ただON利用者に同じママの立場からアドバイスや地域情報の提供を行う。 ・ただONの子育て世代の新規の利用者の獲得と定着をはかる。 	ベビー用品の譲渡 不要になったベビー用品の持ち込み	どなたでも	①6/11(日) ②7/9(日) ③8/13(日)(中止) ④9/10(日) ⑤10/15(日) ⑥11/12(日) ⑦12/10(日) ⑧1/26(金) ⑨2/9(金) ⑩2/19(月) ⑪3/15(金) 午前10時30分～ 11時30分	なし	①30名 ②35名 ③0名 ④30名 ⑤40名 ⑥20名 ⑦25名 ⑧60名 ⑨20名 ⑩30名 ⑪20名 総数310名	開始前から多数の利用者が集まり、リユースということで、持ち込みも多い。今年2年目の事業となり、日曜開催を試行する。平日と休日では利用者も異なり、毎回盛況だったが、駐車場や館内の混雑、共催団体の意向もあり、後半は平日に戻した。平日はプレイルームで子どもを遊ばせながら保護者同士での子育て情報等の交流も行われている。次回の日程の問い合わせも多く、利用者の潜在的要望とマッチした企画となっている。
<申し込み制>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
離乳食講座 【共催】 忠生地域子育て相談センター	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに応える。 ・悩みや戸惑いが多い離乳食について、栄養士の話聞くことにより、利用者の不安を軽減させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食作りの実演 ・離乳食についての講義 ・試食 ・質疑応答 	乳児と保護者	1/19(金) 午前11時～12時 30分	なし	乳6名 大6名 総数12名	「0歳あつまれ！」の参加者から出た要望により実施。定員に空きがあり、当日も参加を呼びかけたが、参加者は増えなかった。講義を聴きながら、「ほうとう風煮込みうどん」を作るところを見て、離乳食初期・中期・後期と大人用を食べ比べた。調理の様子を見ながら栄養士の話が聞けて、不安・悩み・戸惑いが軽減され、参加者は満足していた。

<2>子育て支援事業

【定期事業】

<定例活動>	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
子ども委員会 (T・H・D!!!)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を発信できる場づくり 活動のなかで、やりがいや達成感を味わい、自信につなげる 子どもセンターがより良い居場所になるように活動する 	ただONのルールやプログラム、イベントなどを子どもの視点で考える 子どもセンターがより良い居場所になるよう活動する 年3回のイベント企画運営 運営委員会参画	小学3年生～18歳	原則毎月第1・3土曜日 午後3時～5時	56回	在籍21名	新規メンバーも入り、既存メンバーと力を合わせてイベント準備などを行う。意見を出し合いながら、これまでの経験に基づいて企画運営をすることもみられ、継続の重要性を感じる。地域からイベントへの参加依頼が増加し、子ども委員会で出展することも増える。忠生スポーツ公園のオープン式典では、忠生地域の子どもを代表して、式典に出席する。 中高生については、子ども委員会とは別に時間を設け中高生委員会として集まることもあり、小学生をサポートしつつ中高生独自の活動も精力的に行い、子ども委員会の活動も広がりを見せている。
【ボランティア】 太鼓WOたたこON	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統文化を身近に感じる 地域の方を講師とし、和太鼓の練習を通して、地域との交流、子ども同士から大人まで幅広い交流をはかる ただONのイベントを盛り上げる 	講師：S・T・H・D!!!・鈴木大史氏(ただONOB) 月2回の和太鼓練習 和太鼓の打ち方、基本技術ただON内外でのイベントに向けて演奏練習	小学生～18歳	原則毎月第1、3土曜日 午後2時～3時 (8月まで①午後1時半～2時②午後2時～3時)	29回	在籍19名	今年度は感染症も少し落ち着き、スタジオをメインとした練習が多かった。また、7月に小山田子どもクラブゆめいくのオープニングイベント、10月に忠生市民センターの子どもフェスティバルで演奏をさせてもらい、ただONから外に出ての活動ができた。ただONの年3回のイベントもあり、少し忙しくもあったが、地域の方とのつながりや子どもたちのやる気や自信にもつながった。
<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
ドッジボールタイム	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢・異学校の集団で遊ぶことを通じて、楽しむとともに思いやりの心を育む 	集まった人みんなでドッジボールで遊ぶ	小学生～18歳	毎月第2土曜日 午後2時～3時	9回	341名	開館時から継続している事業で、子どもたちにも浸透しているということもあり、小学生の参加が多いことはもちろん、中学生の参加もあり、中学生が同じチームの小学生に声をかけている姿が随所に見られる。子どもたちの成長と異年齢での交流がドッジボールを通じて感じることのできる事業となっている。
ドッジボールタイムミニ	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢・異学校の集団で遊ぶことを通じて、楽しむとともに思いやりの心を育む 	集まった人みんなでドッジボールで遊ぶ	小学1年～4年生	毎月第4土曜日 午後2時30分～3時	6回	132名	対象を狭め、年齢層の広いドッジボールタイムではまだ活躍しづらい子どもたちを中心にドッジボールの楽しさを知ってもらえる機会になっている。毎回子ども委員会の高校生がボランティアで審判などをやっており、手厚いサポートの中行われている事業である。
カタ部屋 (ボランティアあり)	<ul style="list-style-type: none"> 思春期時期である中高生を対象にし、子ども同士やスタッフとの会話など交流することで、居場所づくりに繋げる 中高生の“やってみたい”を形にしていくきっかけを作る 	少し高度なボードゲームを楽しみながら、友達やスタッフに悩みや相談などしやすい場をつくる カタンほかボードゲームおしゃべり	中学生～18歳	毎週水曜日 午後3時～7時	18回	84名	仲良しグループ数人での参加が多かった。高校生はカードゲームをする子が多く見られ、駆け引きの面白さにとっても盛り上がり、長時間遊んでいく子もいた。 時折、学校の様子などを話してくれたり、息抜きの場になっている様子もあった。中高生の居場所のひとつとなる事業である。「若者大作戦」のPRがしやすい場所でもある。

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
COME ON☆ボードON (ボランティアあり)	・ボードゲームを通して自分の遊びの幅を広げる ・異年齢や知らない子と関わることでコミュニケーション能力を向上させる	ボードゲームを楽しむ 相談 おしゃべり	小学4年生～18歳	毎月第2日曜日 平日月1回 午後3時～5時	29回	221名	普段出ていないおもちゃや「学童でやったことがある！」と興味を示して参加する子も多かった。特に低学年は自分ルールが強く出てしまう子もいたが、それでも譲る部分が見られたりと、子ども同士の関わり方にも成長が見られるところがあった。何度か遊びに来てくれる子もいて、ゲームを介して異年齢の子と仲良くなったり、職員との関わりを持つ機会にもなった。
【ボランティア】 うきうき工作 協力《忠生地区青少年委員》	・自分の力や創意工夫で「できる」を実感し、遊びを通して意欲を育て、健やかな成長の促進をはかる ・ボランティアの方に講師となっていたことで、“地域で子育て”の一端となる	工作	幼児とその保護者 小学生～18歳	毎月第4水曜日 午後3時30分～ 4時30分	9回	89名	身近なものやリサイクル品を使ってできる工作を実施。色塗りや飾り付けなど、子どもたちが好きなように工夫して作ることができた。回によって人数に差はあったが、大盛況の回もあり、うきうき工作を目当てに来館する子もみられた。作り方を丁寧に教えてもらえるので、子どもたちも楽しくのびのびと制作し、作る楽しさでできた喜びを感じられる時間となった。完成した後、遊ぶことができるものが人気があった。青少年委員の方々は、工作に参加しない子の様子にも目を配ってくださり、地域の方の見守りにもつながっている。
【ボランティア】 ほりさんのこうさくや 協力《堀内悠子氏》	・自分の力や創意工夫で「できる」を実感し、遊びを通して意欲を育て、健やかな成長の促進をはかる ・ボランティアの方に講師となっていたことで、“地域で子育て”の一端となる	工作	幼児とその保護者 小学生～18歳	毎月第4日曜日 午後1時～3時	11回	212名	地域のボランティアの方による工作。幼児や小学校低学年を中心にリピーターの子もいて、毎回楽しみに参加してくれている様子が見られた。描いたり貼ったり、自由にデザインするところもあり、制作を楽しめるように工夫されていた。親子で話しながら共同で作業する様子もみられ、親子の関わりを持つ時間になっているとともに、家庭では準備がたいへんな工作を気軽に楽しめる時間にもなっていた。

【不定期事業】

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
【ボランティア】 大学生と一緒に遊ぼう！ 協力《桜美林大学》	・集まったみんなで遊びを楽しむ ・地域の大学生が子どもと関わることで“地域で子育て”の一端とする ・異年齢間交流をすることで、コミュニケーション能力を身につける	①6/10(土) どろけい、しっぽとり ②11/11(土) 工作、じゃんけんゲーム	幼児と保護者 小学生～18歳	①6/10(土) 午後3時～4時 ②11/11(土) 午後1時～2時 午後3時～4時	なし	①48名 ②60名	桜美林大学(グローバルコミュニケーション学群Volunteer Studiesの学生によるイベント。小学生中心にどろけいやしっぽ取などであそぶ。大学生も普段子どもたちに関わっている学生がしきり17名の大学生がプレイルームを子どもたちと一緒に楽しんでいた。 2回目は、前半にプラバンとペットボトルで作るプカプカ水族館の工作も行い、幼児さんも大人と一緒に作ることができ熱心に参加。大学生も優しく教えていた。 大学生のプログラムを楽しみにしている小学生もおり、遊びを通じて異年齢間交流の場となっていた。

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
<p><夏> わくわく夏祭り in ただON イーイ！ 【共催】 町田総合高校</p>	<p>・町田総合高校との地域連携の一環 ・子どもたちの参画を促す</p>	<p>・ドッチボール ・ドロケイ ・射的 ・おしゃれ ・輪投げ・クイズ ・映画上映</p>	<p>幼児と保護者 小学生～18歳</p>	<p>7/24(月) 午後2時～3時30分</p>	<p>なし</p>	<p>195名</p>	<p>町田総合高校の探求学習の一環で子どもの居場所づくりの一つとして、このイベントを企画し実施した。21名の高校生がそれぞれクラスごとに、子どもたちに向けてゲームコーナーやブレイルームでどろけいをしたり、メイク講座、映画会などを行い、多くの幼児や小学生、中学生が参加して盛り上がった。初めはやる気のなさそうな高校生もいたが、イベントが始まると上手に小さい子の相手を楽しんでいた。高校生の感想も「疲れた」と言いつつ「やってよかった」との感想もあり、高校生も充実した時間を過ごせたようである。</p>
<p><夏> ファイトー！スポーツ タイム 【共催】スポーツクラ ブメガロス町田</p>	<p>・子どもたちの運動不足、体力低下の背景を踏まえ、楽しく身体を動かしながら、体力アップを図る。 ・体を動かす楽しさを知る。</p>	<p>・身体を動かしながら、楽しく体力アップする ・講師：スポーツクラブメ ガロス町田</p>	<p>どなたでも</p>	<p>7/30(日) 午後3時～4時</p>	<p>なし</p>	<p>34名</p>	<p>メガロス町田スポーツクラブの方が2名来てくださり、手を回したりするところから、音楽に合わせてジャンプしたり手を上下させたり、その後は四つ這いや馬飛びで競争したりと、簡単な身体の動きから、ちょっと難しい動きまでを楽しく織り交ぜて実施。最後は握力測定器で握力を計り、チームで競争した。幼児さんから中学生まで参加があり、思っていた以上に中学生の参加があったが、友達と一緒に記録に挑戦したり、積極的に参加していて、楽しみながら体力アップにつながった。</p>
<p><夏> 【ボランティア】 怪談ライブ 協力《ひろば文庫》</p>	<p>・親子のコミュニケーションが豊かになる ・多様な児童文化に触れ豊かな情緒が育まれる ・地域の人材を活用することで安心して地域の中で子育てができる</p>	<p>絵本・素話・おばけ登場 など マリンバ、キーボードの 生演奏</p>	<p>幼児と保護者 小学生～18歳</p>	<p>8/3(木) 午後2時～2時45分</p>	<p>なし</p>	<p>65名</p>	<p>ランプのついた薄暗い部屋で、マリンバとキーボードの生演奏にあわせて、プロジェクターに映しだされた絵を見ながらの怖いおはなしがはじまる。楽器の生演奏が怖さを助長し、小学生でも固唾を飲んで聞き入っていた。最後に2人のお化けが会場へ乱入し、悲鳴を上げて逃げ出す子や泣く子もいた。毎年参加者が多くリピーターもあり、地域団体とただONのボランティアが一緒になって行う夏らしい企画となった。</p>
<p><夏> 忠生図書館からの挑 戦状 【共催】忠生図書館</p>	<p>・クイズを通して、普段子どもたちがあまり触れることのない百科事典に触れる機会をつくる。 ・子どもたちが、百科事典・本への興味を持つきっかけとなる。</p>	<p>挑戦状に書かれた問題の答えを百科事典から探し出す。</p>	<p>どなたでも</p>	<p>7/31(月) 午後2時～3時30分</p>	<p>なし</p>	<p>37名</p>	<p>忠生図書館の方が用意したクイズの答えを百科事典の中から探して答える。来館者の子に声をかけると最初は参加しなかった子も様子を見て、その後参加していた。幼児さんや中高生も参加。小学生の中には百科事典に不慣れな子もいたが(スマホで調べようとする子もいた)、図書館の方やスタッフが声をかけ、頑張っって解いていた。アニメのキャラクターに関する問題など、興味を持ちやすい内容だった。ブンブンゴマやぐりとぐらの折り紙などの参加賞も好評だった。百科事典に触れ、活用する方法を知って、子どもたちが百科事典への興味を持つきっかけとなった。</p>

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
<p><夏> 【中高生委員会企画】 夏の勉強会ただON ～寺子屋～</p>	<p>・子ども委員の中高生が主体となって企画することにより、中高生委員会、子ども委員会の認知度を向上する。</p>	<p>・自主的に勉強や宿題をする場所の提供 ・わからないところを中高生に聞き理解を深める</p>	小学生	<p>①8/11日(金) ②8/23日(水) ③8/25日(金) 午前10時45分～午後2時</p>	なし	<p>①5名 ②3名 ③1名 総数9名</p>	<p>小学生たちが宿題をやりながら、わからないところを高校生に聞いて進めていた。宿題をやるのにちょうどよく、小学生たちもよく勉強がはかどったようだ。企画、ポスターから当日の進行も中高生で担うことができ、イベントの実行にも自信がたった。</p>
<p><夏> 【中高生委員会企画】 キングオブレクリエーションKing of recreation</p>	<p>・子ども委員の中高生が主体となって企画することにより、中高生委員会、子ども委員会の認知度を向上する。 ・時間のある学校の長期休みに、小学生に体を動かすプログラムを提供し、楽しんでもらう</p>	<p>・しっぽとり ・キャンディボールバレー ほか</p>	小学生	<p>①8/11日(金) ②8/23日(水) 午後2時10分～3時</p>	なし	<p>①20名 ②25名 総数45名</p>	<p>中高生が呼びかけるとプレイルームに小学生が集まり、中高生の進行でレクリエーションがはじまり、和気あいあいと盛り上がっていた。最後はやりたいことを小学生に聞いたが、ただONで人気のあるドッジボールという声が多く、やり慣れているのこともあり、盛り上がる。異年齢で交流、小学生が中高生の存在も知ることもでき子どもセンターならではの企画であった。</p>
<p>【出張事業】 忠生子どもフェスティバル (忠生市民センター)</p>	<p>【中高生委員会】 ・地域の団体ができることをもちより、イベントを行うことで地域の活性化につなげる。 ・子ども委員会の周知や子どもたちの活躍の披露を兼ねて、参加をする。 ・参加することにより、子どもたちの経験にもつながり、地域との結びつきも得られる。 【太鼓WOたたこON】 ・地域の団体ができることをもちより、イベントを行うことで地域の活性化につなげる。 ・地域の団体として子どもセンターただONの太鼓WOたたこONにも参加要請があり、子どもたちの活躍の披露を兼ねて、参加。子どもたちの経験にもつながり、地域との結びつきも得られる。</p>	<p>【中高生委員会出展】 コリントゲーム 【太鼓WOたたこON】 和太鼓演奏</p>	幼児～18歳	10/22(日) 午前10時～午後3時	なし	115名	<p>【中高生委員会】 コーナーの準備、設置を自分たちで手際よく行い、奥の場所だったので呼び込みを積極的にしたため、途切れることなくお客さんがきてくれた。幼児の親子連れ、小学生も多く、ルールの説明なども丁寧に声掛けしていた。中高生の団体ということで他の団体から声もかけてもらい、地域に中高生の活動をアピールできた。 【太鼓WOたたこON】 小学生から中学生が参加し、「三宅」「フェスタ」「夏祭り」の3曲を演奏。合間のMCは中学3年生の2人がやってくれた。慣れない会場で多少のハプニングもあったが、立派に演奏することができた。</p>
<p>【出張事業】 さくらまつり出展 (尾根緑道)</p>	<p>・地域のイベントに参加し、コーナーを1つ出展し、成し遂げることで、中高生たちの活動の場を広げる。</p>	コリントゲーム	どなたでも	3/31(日) 午前10時～午後3時30分	なし	340名	<p>子ども委員会の中高生たちが、さくらまつりに出展する。手作りのボールコリントゲームを行いたくさんの親子連れの方に参加してもらった。当日は夏のように暑い日で、ただONの中高生たちも後半は疲れもみられたが、休憩時間にはさくらまつりを楽しみつつ地域のイベントに貢献することができた。</p>

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
<p>【ボランティア】 カブトムシ・クワガタムシがやってくる！ 協力《佐藤勇樹氏》</p>	<p>・生きた昆虫やめずらしい昆虫にふれる機会とする。 ・地域の力を活用する</p>	<p>・カブトムシやクワガタムシなど、生きている虫と標本の展示 ・昆虫採集や昆虫の飼育方法など、昆虫に関することのお話</p>	<p>どなたでも</p>	<p>①10/14(土) 午前10時30分～午後5時 ②10/15(日) 午後1時～5時</p>	<p>なし</p>	<p>①51名 ②58名 総数109名</p>	<p>小山田子どもクラブからの紹介があり、実施に至った。当初は1回実施の予定だったが、佐藤氏の都合が付き、急遽翌日も実施した。標本もたくさんあったが、珍しい世界のカブトムシ・クワガタムシが生きている姿を見て、小さい子から高校生・大人まで興奮していた。</p>
<p>【ボランティア】 クリスマスポイフル 協力《まちっこぽいふる》</p>	<p>・子どもセンターのOBによる企画を行う事で若者の活躍の場をひろげると共に、今後の子どもたちの参画への意欲を育てる。</p>	<p>・レクリエーション ・工作</p>	<p>幼児と保護者 小学生～18歳</p>	<p>12/17(日) 午後2時～4時</p>	<p>なし</p>	<p>①子25名 保護者5名 ②子27名 保護者5名 総数62名</p>	<p>①14:00～レクリエーション、②14:40～16:00工作 ①幼児～小学高学年と幅広い年齢が参加したので、臨機応変な言葉がけや対応を心がけた。幼児さんの保護者も一緒に参加し、全体的にもりあがった。 ②レクリエーション後全員で工作室へ移動し、一斉に工作を行う。レクリエーションからの移動だったので、和気あいあいとした雰囲気だった。工作から参加した子もいて、時間いっぱい作っていた。 子どもセンターのOBによる企画のため、異年齢の交流にもつながり若者の活躍の場にもなった。</p>
<p>昔あそび 協力《町田史考会》</p>	<p>・日本の伝統的な遊びに親しみをもち ・普段身近にない遊びに触れ、楽しむ ・伝承遊びを通じて異年齢の子ども・世代を超え関わり、地域で子育ての一端とする</p>	<p>ゴム鉄砲作り・遊び、紙ヒコーキづくり、けん玉、コマまわし、だるまおとしなどの昔遊び</p>	<p>幼児と保護者 小学生～18歳</p>	<p>1/7(日) 午後1時～3時</p>	<p>なし</p>	<p>幼11名 小11名 中高6名 保12名 総数40名</p>	<p>スタートは来館者が少なく、常連の小学生2名が参加。予定では前半の1時間は紙飛行機作り、後半にいろいろな昔遊びをする予定だったが、けん玉やコマを待つ子が多く、前倒してスタートした。徐々に幼児親子の参加が増え、通りかかった中高生も参加していった。昔遊びを気軽に楽しんでいた。</p>
<申し込み制>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
<p>【ボランティア】 オリジナルリングノートを作ろう 協力《手作り文具雑貨工房》</p>	<p>・物作りを通して自己表現や創造性を養い、健やかな成長の促進をはかる ・地域の方がボランティア講師として関わってくださることにより、“地域で子育て”の一端となる</p>	<p>①表紙にデコレーション ②中紙とリングの色を選ぶ ③リングを留める</p>	<p>①乳幼児と保護者 ②小学生～18歳</p>	<p>6/18(日) ①午前10時30分～11時 ②午前11時15分～正午</p>	<p>300円</p>	<p>11名</p>	<p>当日の申込もあり、乳幼児、小学生とも募集人数を超えて受け入れもらった。乳幼児は手形足形を取る親子がほとんど、手形に顔を描いたり、好きなシールを盛りだくさんに貼ったりとかわいい作品ができていた。小学生以上はマスキングテープやシールで縁取りする子が多かった。表と裏に差をつけたり、バランスを考えて貼る様子が見られた。地域の方の専門性を活かし、実際にノートの用紙選びや、機械でリングノートを閉じる作業もやり、貴重な経験をすることができた。</p>

<申し込み制>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
(夏) 【ボランティア】 クレイケーキ作り&フォトブース	・講師の方と地域の子どもや親子が顔みしりになり、今後もつながるきっかけとなるよう促す。 ・4才から6才といった幼稚園在園の子どもを対象とすることにより、夏休みの子育てを応援する。	講師：萱沼 綾華氏 ・軽量紙粘土でオリジナルのケーキ作り ・フォトブース設置 ・時間内フォトブースのみの利用も可(申込不要)	4歳～小学生	7/28(金) 午前10時30分～11時30分	200円	15名	幼児さんは保護者同伴で行い、小学生とのきょうだいも複数組いたので、おだやかな雰囲気で行われた。クレイ粘土をつけるころは少し時間がかかったが、飾りを選んでのせ思い思いのケーキが出来上がった。講師の方が設置してくれたフォトブースでケーキをもって写真をとっていく親子も多かった。夏の思い出のひとつとなった。
<夏> リサイクルガラス砂 絵教室 【共催】 (一財)まちだエコライフ推進公社	・環境問題について考えることはこれからを生きる子どもたちにとっても重要である。 ・制作を通して、物づくりの楽しさや創造性を養う ・地球への負担を少しでも減らすための町田市の取り組みを知り、エコライフ、リサイクルの大切さについて学ぶ。	・リサイクルガラス砂を使用した砂絵 ・3R推進課より依頼 ・講師：一般財団法人まちだエコライフ推進公社	小学生	8/2(水) 午前10時30分～午後0時30分	なし	14名	色とりどりのガラス砂を使って砂絵を制作する。また最後にビンがリサイクルされる動画をみた。ガラスの砂絵作りを楽しみつつ、リサイクルについても学べる時間となった。皆真剣に黙々と作っていた。
<夏> ガラス彫体験 【共催】 町田市立博物館	・文化振興課との共催事業 ・工芸美術への知識を深める ・物作りを通して自己表現や創造性を養い、健やかな成長の促進をはかる ・他課と連携・共催により“地域で子育て”の一端となる	講師：後閑博明氏 ガラス作家の指導のもと、ペン型のハンドグライダーを使って、コップに自分の好きな絵を彫る	小学3年生～18歳	8/2(木) ①午後1時～2時 ②午後3時～4時	500円	22名	体調不良等で当日キャンセルがあり、当日来ていた子も一人参加。博物館の方からは、ただONの子は「すぐに取りかかる子が多い」「時間配分がいい」などの感想もいただいた。自分のスマホで彫りたい絵を調べながら彫る子もいた。真剣に考えて取り組む姿が見られ、それぞれの個性が光るものが出来あがっており、他課との共催により、ものづくりへの興味関心へつながることができた。
<夏> まちけあキッズ 介護のお仕事体験 【共催】 いきいき総務課 協力《福音会》	・いきいき総務課との共催事業 ・地域の介護施設の方から介護の仕事について教わり、介護の仕事に興味関心をもつきっかけとする ・他課との連携・共催により“地域で子育て”の一端となる	・介護士体験(車いす操作体験) ・看護師体験(コスチューム体験、問診ロールプレイ、体温・SPO2測定体験) ・栄養士体験(食中毒予防のための手洗いチェック)	小学生	8/9(水) ①午後1時30分～2時30分 ②午後3時～4時	なし	①13名 ②15名 総数28名	事前の申し込みが少なく、当日来館者に声をかけて参加を募った。 1回目と2回目続けて参加する子もいた。小学生男子の5人組がとても元気で、賑やかに体験を楽しんでいた。2回目に参加する予定の子が待ちきれずに覗いていた。 ボランティアの高校生たちが参加者の子どもたちとよく関わってくれて、地域力も発揮されていた。 体験を通して、介護の仕事に興味関心をもった子も見られた。
<夏> ガラスフュージング withぱお 【共催】 子どもセンターぱお	・体験活動ができる場の充実 ・他子どもセンターのPR	子どもセンターぱお職員 ・ガラスを使って、はしおきとマグネット作り	小学生～18歳	8/17(木) 午後2時～.時	300円	12名	たくさんの種類のガラスの破片から自分の使いたいものを取り、それぞれ凝ったデザインを考え、素敵な作品を完成させていた。職員に確認しながら、真剣に作る姿が見られた。早く終わる子が多かったが、時間いっぱい丁寧に仕上げる子も何人かいた。 子どもセンターぱおを知っている子と知らない子がいたが、相原にある子どもセンターぱおを知ってもらう良い機会ともなった。

<p>【ボランティア】 移動工作教室</p> <p>協力《桜美林大学大 学祭実行委員会》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力や創意工夫で「できる」を実感し、遊びを通して意欲を育て、健やかな成長の促進をはかる ・ボランティアの方に講師となっていたことで、“地域で子育て”の一端となる 	<p>ふわふわスライム作り ステッカー作り</p>	<p>4歳～小学生</p>	<p>8/23(水) 午後3時～4時</p>	<p>なし</p>	<p>15名</p>	<p>スライム作りに魅かれて参加した子が多かった。ステッカー作りは自分が描いた絵がステッカーになるということで、集中して描いている子がいた。大学生に懐いて、遊んでもらう子もいた。大学生は、準備や作り方の共有が不十分だったと振り返っていた。 工作を楽しみながら、大学生とかかわり、コミュニケーション能力を高める事業となった。</p>
<p>(夏) 【ボランティア】 アニメ理科実験教室 水ライトをつくろう！</p> <p>協力《小花利一郎氏》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実験での事象に触れる機会を通して、科学について興味や関心を持つ ・体験を通して子どもから大人まで幅広く交流を促し、コミュニケーション能力を育む ・ボランティアの方に講師となっていたことで、“地域で子育て”の一端となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・「水ライト」が出てくるアニメの鑑賞 ・「水ライト」の作製 	<p>小学生～中学生</p>	<p>8/24(木) 午前10時30分～ 正午</p>	<p>500円</p>	<p>19名</p>	<p>昨年に引き続き、2回目の参加の子もいたが、アニメも水ライト作りも楽しんでた。説明を真剣に聞く参加者が多く、全体的に静かだったが、作っている間は友達同士や講師とコミュニケーションを取り、自分で作った水ライトがつくと歓声を上げていた。 講師から、理科や学びに対する熱いメッセージもあった。理科に対する興味・関心が強める事業である。</p>
<p>(夏) 【ボランティア】 ほりさんこうさくスペシャ ル</p> <p>協力《堀内悠子氏》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力や創意工夫で「できる」を実感し、遊びを通して意欲を育て、健やかな成長の促進をはかる ・ボランティアの方に講師となっていたことで、“地域で子育て”の一端となる 	<p>工作</p>	<p>幼児～18歳</p>	<p>8/27(日) 午後1時～3時</p>	<p>50円</p>	<p>36名</p>	<p>「キラキラ☆シャボン玉を作ろう！」キラキラテープを使った、くるくる回すと消えないシャボン玉になる工作。夏休みスペシャルということで、いつもより定員を増やして実施。下準備をしたこともあり、そこまで時間がかからず簡単に作れていた。出来あがったものをみて、「キレイー！！」という声もたくさんあがっていた。毎月定例でやっている工作事業を夏休み中に館内に遊びに来ている来館者がふらっと参加しやすい形で実施したため、多くの参加人数につながり、毎月開催している「ほりさんのこうさくや」のPRにつながった。また、多くの人に工作を楽しんでもらうことができた。</p>
<p>〈夏〉 【ボランティア】 OH！すしロール</p> <p>協力《アンクルおさむ 氏》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で作って食べる喜びを味わう ・会食を通じて交流を持つ ・ボランティアの方に講師となっていたことで、“地域で子育て”の一端となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域性のある料理の作り方を、英語を交えて教わる ・参加者と講師一緒に会食する 	<p>小学生～18歳</p>	<p>8/28(月) 午前11時～午後 0時30分</p>	<p>300円</p>	<p>10名</p>	<p>1年生から6年生までパランスよく申し込みがあり、兄弟での参加もあった。スクリーンに画像を映しながら、英語で講師と寿司ロールの紹介するところから始まった。「ドラゴンロール」にみんな興味津々だった。 最初は初対面の講師に緊張していた子ども、作り方を教えてもらう時に距離が近くなり、かかわっていた。アボカドを食べたことが無い子や苦手な子ども、自分で作ったものだとおいしそうに食べていた。</p>
<p>【ボランティア】 ～英語でcooking～ 沖縄ポーク玉子をつくら う</p> <p>協力《大城氏》 桜美林大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で作って食べる喜びを味わう ・会食を通じて交流を持つ ・ボランティアの方に講師となっていたことで、“地域で子育て”の一端となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域性のある料理の作り方を、英語を交えて教わる ・参加者と講師一緒に会食する 	<p>小学生～18歳</p>	<p>12/9(土) 午前10時30分～ 午後1時</p>	<p>350円</p>	<p>10名</p>	<p>講師は作り方を英語と沖縄の方言を交えて説明し、子どもたちにも問いかけながら作ってくれた。途中で泣き出してしまった子のこともよく気遣ってくれた。 最初は緊張気味だった参加者も、講師の明るさと各テーブルについてくれた大学生の積極的な関わりのおかげでどんどん打ち解けていった。完成した沖縄ポーク玉子はボリュームたっぷりだったが、講師や手伝ってくれた大学生と一緒に楽しく食べた。</p>

＜申し込み制＞	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
【ボランティア】 ～英語でcooking～ 油麩井をつくろう 協力《いとち一氏》 桜美林大学	<ul style="list-style-type: none"> 自分で作って食べる喜びを味わう 会食を通じて交流を持つ ボランティアの方に講師となっていたことで、“地域で子育て”の一端となる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域性のある料理の作り方を、英語を交えて教わる 参加者と講師一緒に会食する 	小学生～18歳	2/18(日) 午前10時30分～ 12時30分	350円	11名	馴染みのない「油麩井」だったが、問い合わせもあり、定員に達するのが早かった。講師は、最初に英語、次に日本語でスムーズに解説してくれた。かわいらしいスライドには「仙台クイズ」「仙台の方言」もあり、みんなで楽しんだ。大学生が各グループの参加者にたくさん話しかけてくれた。友達同士ではなく1人で参加している子への気遣いも見られ、良い交流が持てた。油麩井もずんだもちもおいしくできたようで、みんな満足していた。
みて・さわって五感チャレンジ 【共催】 サレジオ工業高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> 五感を使い危険を察知する能力を身につける。 楽しみながら体験することで、防災の知識を学ぶとともに生きる力につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 五感を使い、「災害時のような時はこうなる」といったことを体感して覚える。 子どもたちが興味を示すよう、遊び感覚でできるものとする。 講師：サレジオ工業高等専門学校 中山 友紀氏 	年長～18歳	3/28(日) 午後1時30分～ 2時30分	なし	17名	3つのグループに分かれ、プロジェクターを使った講義のあと、何種類かの水のおいしさをかいで何のおいしか当てる(葉っぱ、土、水道水)、ただONの施設内の音、光、風を機械で測定し、数値として表すなど、体験をしながら、五感を意識した。においは年を取ると鈍くなるとお話ししていたところ、実際最年少の幼児さんが水のおいしさを当てて、みな驚いた。幼児さんの素直な意見になごみながら、他の子も少しずつ声が出るようになった。実際にやってみるところでは、みな興味津々、楽しそうにやっていた。「土のおいしがしたら、土砂崩れの危険があるかも」など、五感を意識することでの防災力を高めるきっかけとなった。

【支援事業】

＜申し込み制＞	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
【子ども会支援】 木曽境川子ども会 「6年生を送る会」	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会等に、プログラムサービスを提供し、地域の活性化を支援する ただONのPR・来館のきっかけに繋げる 	パフェづくり レクリエーション 送る会	子ども会役員 子ども会会員	17日(日) 午前10時～午後0 時30分	なし	33名	当日の進行や内容について相談をうけ、役員の方と事前に打ち合わせをし、プログラムの組み立てを行う。パフェづくりや送る会は、役員さんが進行し、ただONでは場所の提供とレクリエーションの進行を担当する。当日は子どもたちもノリがよく、飲食、レクを楽しみ、6年生を送る会では、最後に下級生へ6年生からのあいさつもあり、和やかな会となった。当日も役員さんで準備や段取りなどがスムーズに行われ、地域団体の活動の支援をすることができた。

【スタジオ講習】

＜申し込み制＞	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
スタジオ講習会	<ul style="list-style-type: none"> 自主的な音楽活動を応援する 音楽スタジオを大切に使えるようになる 	音楽スタジオ「ふあんふあん」の利用方法、機材についての講習	中学生～18歳	平日 午後4時～ 学校休業日 午前10時15分～	なし	84名	月に3日、日程を提示し、そのほか利用者の希望によって実施した。自分たちがやりたいことであるため、真面目に聞く子がほとんどである。受講直後は戸惑いながら利用する子もいるが、全体的に利用するときのマナーも良い。中高生がスタッフとかかわりを持つ機会にもなっている。

<3>主催イベント

	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
子どもの日スペシャル 【協力】 ・S・T・H・D!!! ・忠生地区青少年委員の会 ・オカピさん ・つながる町だふぁみりー ・大道芸人TAKUMI ・ほか地域の方々・ただON子ども委員会T・H・D!!! ・まあち子ども委員会	・こどもの日を楽し過ごす ・ただONのイベントを通じ地域の繋がりを広げ、子ども委員会の活躍や活動を知ってもらう ・地域団体さんに出展していただくことで、連携し地域とのつながりを深める	遊びコーナー(プラレール、ブロック、ドミノ) ゲームコーナー(魚つり、コリントゲーム、おかしガチャ) 工作(こいのぼり・こいのぼり・カップけん玉・コトコトアニマル) バルーンアート 模擬店(パンケーキ) 太鼓演奏・太鼓体験会 ジャグリングショー リユース会	どなたでも	5/5(金・祝) 午後1時～4時	なし	約400名	13時からプレイルームにて太鼓の演奏、体験会がはじまり、その後館内全体でゲームコーナーや遊びコーナー、各種工作や今年から飲食の販売も復活し、飲食コーナーにもぎわっていた。 子ども委員会の子どもたちもイベント自体を楽しみつつ子ども委員委員会のコーナーを盛り上げて活躍していた。 イベントに出展してくれた子どもセンターまあちの子ども委員の高校生たちと交流することができ、他の子どもセンターの活動の様子をみる事ができた。また、後日この日の子ども委員の活躍をみた子が委員会に入ったという嬉しい成果があった。
夏祭り 【協力】 ・町田市子ども会育成会連絡協議会 ・忠生地区青少年委員の会 ・桜美林大学ボランティア部 ・桜美林大学大学祭実行委員会 ・桜美林大学伊賀野ゼミ ・つながる町だファミリー ・企画政策課 ・市民生活安全課 ・太鼓WOたたこON ・T・A・M ・S・T・H・D!!! ・子ども委員会T・H・D!!!・中高生委員会	【T・H・D!!!】 イベントの企画運営を通して、意欲、達成感、協調性、自信を育み、健やかな成長の促進をはかる。 【来場者】 T・H・D!!!や太鼓、ボランティアなどで活躍する姿を見て、今後、自分がやりたいものを見つける機会とし、子どもの参画に繋げる。子どもが主体になって祭りに参画している姿を、市民の方に観て頂く。 【ただON】 子ども達の“やりたい”を実現する。ボランティアの方々にご参加ご協力頂き、“地域で子育て”の一端となる。	ゲーム 飲食販売 工作 ワークショップ ステージ:太鼓演奏 他	どなたでも	8/20(日) 午前11時～午後3時	なし	600名	今年度は、感染症の規制も緩和され、かき氷やた焼き、フランクフルト、パンケーキなどの飲食販売をし、お昼の時間を挟んでの実施となった。今年もプレイルームで太鼓の演奏から始まり、その後各コーナーがスタートすると2階の飲食販売が大盛況で参加者が列をなしていた。また工作やゲームコーナーなども常に子どもたちがいる様子がみられた。子ども委員会は久しぶりの飲食販売となり、準備から楽しみにしている様子が見られた。かき氷はトッピングをくじで決めるという方法で、当日は中高生委員やボランティアのフォローもあり、楽しみながら販売をしていた。 「ジャンポリミッキーを踊り隊」ではT・A・Mと一緒に「ジャンポリミッキー」を小さい子から大人まで一緒に踊り、お祭りの最後にはプレイルームが一体となって盛り上がっていた。 今回も総勢40名ほどのボランティアの皆さんがお手伝いをしてください、大きなイベントを無事に実施することができた。
TADAONハロウィン 【協力】 大道芸人:TAKUMI マジシャン: KORIN 桜美林大学	・子ども委員会がイベントの企画運営を通して、意欲、達成感、協調性、自信を育み、健やかな成長の促進をはかる ・ボランティアの方々にご参加ご協力頂き、“地域で子育て”の一端となる	コリントゲーム ハロウィンラリー ハロウィン工作 手形足形アート ジャグリング マジックショー フォトスポット	0歳～18歳と保護者	10/24(土) 午後2時～4時	なし	217名	子ども委員会、中高生委員会の各コーナーとハロウィンフォト、手形足形アートやマジックショーや工作などを配置し、仮装して参加する子どもたちも多く、乳幼児の家族連れや小学生が2時間楽しむ。近隣の学校が文化祭や運動会などイベントが多かったため、来館者が少なめだったが、最後はプレイルームで大道芸人TAKUMIによるジャグリング体験とショーが行われイベントが終了する。 子ども委員会の子どもたちは工夫して企画運営し、当日は臨機応変に対応してる姿がみられた。

<p>ただONパーティー10 【協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忠生地区協議会 ・青少年健全育成忠生第一地区委員会 ・青少年健全育成忠生第三地区委員会 ・青少年健全育成小山田地区委員会 ・S・T・H・D!!! ・忠生地区青少年委員の会 ・町田警察署 ・FC町田ゼルビア ・忠生小町田わくわくプロジェクト ・小山田ダブルダッチクラブ ・ゴールデンパークス ・TAKAYA ・桜美林大学祭実行委員会 ・桜美林大学ボランティア部 ・きそっち子どもクラブ子ども委員会 ・ゆめいく子ども委員会 ・太鼓WOたたこON ・T・A・M ・まちだサポーターズ ・子ども委員会T・H・D!!! <p>ほか地域の方々</p>	<p>・ただONの職員が関係者、利用者に日頃の感謝の気持ちを伝える場とする</p> <p>・子ども委員会がイベントの企画運営を通して、意欲、達成感、協調性、自信を育み、健やかな成長の促進をはかる</p> <p>・参加者が子ども委員会やその他主催者の姿を見て、今後、自分がやりたいものを見つける機会とし、子どもの参画に繋げる</p>	<p>10周年セレモニー くす玉 ステージ 飲食販売 工作 ゲーム ビンゴ大会</p>	<p>幼児と保護者 小学生～18歳</p>	<p>1/28(日) 午前10時～3時</p>	<p>なし</p>	<p>989名</p>	<p>地域の方々にもたくさんご協力をいただき模擬店の数も多く、玄関前やテラスまで使用しての実施となった。セレモニーでは、くす玉を地域の方々に割っていただき、中から頭の文字を並べると「ありがとう」となる5つのメッセージが出てきた。ステージは、太鼓の他、ダブルダッチやチアダンス、ビートボックスなど、地域の方が発表をして盛り上げてくれた。ピーpokん&ゼルビーくんのじゃんけんタイム、ビンゴ大会、ジャンボリミッキーを踊り隊♪などは特に人が集まり、楽しい様子や子どもから大人まで一緒に踊る姿が見られた。模擬店は飲食の販売も多く、「おいしい」という声もたくさん聞こえてきてとても好評だった。工作やゲームコーナーも賑わい、工作で作った凧を芝生で凧あげを楽しむ子も多かった。OKんのメッセージやただON川柳を来館者に書いてもらったところ、「ただONといえばドッチボール」、「ただONは たのしいことが いっぱいだ」など、すてきなメッセージをたくさん書いてもらえた。地域の方々のお陰で、10周年を迎えることができ、また盛大にお祝いをすることができた。</p>
---	---	---	---------------------------	-----------------------------	-----------	-------------	--